

全労金2022春季生活闘争ニュース・第12号

～めざそう賃金改善！進めようジェンダー平等！団結しよう、みんなの春闘！～

沖縄・セントラル労組の要求概要と交渉への決意を紹介します！

◎沖縄労組の要求概要

| | | 沖縄労組 | | |
|--------|--------|---|--------|---------------|
| | | 正職員 | 準職員 | 再雇用 嘱託職員 |
| 基本賃金 | | 1～2等級3,000円 3～6等級上限 下限等を3,000円 | 3,000円 | 初任額 3,000円 |
| 一時金 | | 4.8 | 4.8 | — |
| 昨年実績 | | 4.6 | 4.5 | — |
| 安定雇用 | 無期転換 | — | (実現) | — |
| | 登用制度 | — | (実現) | — |
| 最低賃金 | | 時間額1,020円、日額7,480円、 月額157,100円への引き上げ | | |
| 雇用環境 | 私傷病休職 | — | (実現) | — |
| | 育児時短 | (小学校卒業まで) | | — |
| | ハラスメント | (実現) | | |
| 単組独自要求 | | 子ども手当の改善 | | |
| | | — | 退職金の改善 | — |
| 関連会社 | | 関連会社なし | | |



《沖縄労組・松村副委員長（写真は右端）の決意》

2021年度もコロナで始まり、今もなお大きな影響を受けている一年でした。感染拡大の中、役職員・組合員の奮闘により各店舗の業務運営を維持し続け、会員への支援、社会貢献に寄与した一年でもありました。労働対策にも注力し、時間外労働の削減・抑制につながってきております。その成果が仮決算にも影響し、経常利益は前年度同期比で約1.5億円の増加となりました。様々な要因がある中で要求項目を厳選して取り組む2022春季生活闘争は、全組合員の思いを1つに満額回答をめざし、団結して闘います。春季生活闘争方針は、中央委員会にて全会一致で可決されたことをうけ、私自身も全組合員の後押しの中交渉に挑めます。どんなにいい商品・サービスも人財なく



しては顧客を初めとするステークホルダーへは届きません。沖縄ろうきんが2022年度も日々進化し、真なる価値を発揮するために金庫は労働組合の要求主旨を理解しようとする真摯な対応を務め、労使双方が納得する形で、お互いが新年度を前向きに迎えらるるような春季生活闘争としたいです。

◎セントラル労組の要求概要

| | | セントラル労組 | | | |
|--------|--------|--|------------|--------|---------------|
| | | 正職員 | 準職員 | サポート職員 | 再雇用 嘱託職員 |
| 基本賃金 | | 能力1等級4,000円 能力5等級1,000円 BW6等級3,000円等 | 500~1,500円 | | Cコース 時給50円 |
| 一時金 | | 4.5 | 4.5 | 4.0 | — |
| 昨年実績 | | 4.5 | 4.5 | 4.0 | — |
| 安定雇用 | 無期転換 | — | (実現) | | — |
| | 登用制度 | | (実現) | | — |
| 最低賃金 | | 時間額1,100円、日額8,070円、 月額169,500円への引き上げ | | | |
| 雇用環境 | 私傷病休職 | — | (実現) | | — |
| | 育児時短 | (小学校3年生まで) | | | |
| | ハラスメント | (実現) | | | |
| 単組独自要求 | | 時間外労働免除・制限の可能期間延長 積立休暇制度の拡充 | | | — — |
| 関連会社 | | 事業体に準ずる | | | |



《セントラル労組・藤戸副委員長（写真は中央）の決意》

ろうきんセントラル労組は、2月14日に開催した第1回中央委員会にて、満場一致で2022春季生活闘争方針を確立しました。中央機関を取り巻く情勢は、2021年度の仮決算において、経常利益や当期一般正味財産増減額の減少などの要素から、依然として厳しい状況にある中での春闘となります。この状況下において、基本賃金と労働環境の改善をめざした要求は、ハードルの高い目標に思えるかもしれませんが、我々は、組合員の総意で確立した要求項目を掲げ、堂々と春闘に臨みます。中央機関の仲間は、オール・ワンリプレイス対応、ペーパーレス・キャッシュレスサービスの拡大・Web完結型の融資受付や保証審査システムの改善などの新しい技術に対して、当然のように対応することが求められており、日々邁進しています。この働きへの成果として、そして組合員のモチベーションの向上と、将来に対する経済的な不安払拭の一助となることを目指し、全国の仲間とともに闘い抜く所存です。共に頑張りましょう。



※次号は3月4日に発行します！